

遠野町地域教育協議会広報

令和2年8月6日発行 第50号 編集・発行 遠野町地域教育協議会・遠野地区公民館

遠野町地域教育協議会の基本方針

「学校・家庭・地域が連携し、遠野町総力で子どもたちの成長を支える」

—遠野町地域教育協議会・遠野地区公民館—

『遠野町地域教育協議会』は地域の子供たちの応援団です!!



遠野町地域教育協議会は、遠野町内の保育園、幼稚園、小中学校、児童館、PTA、地域の各団体の代表など25名で構成されています。子どもたちの応援団として、地域の力で子どもたちを育てることを目標に10年以上活動をしています。

今年度は「学校・家庭・地域が連携し、遠野町総力で子どもたちの成長を支える」を基本方針とし、下記課題解決や推進運動の展開を関係機関や団体と協力し、長期的・継続的に実行して参りますので、町民皆様のご協力をお願いします。



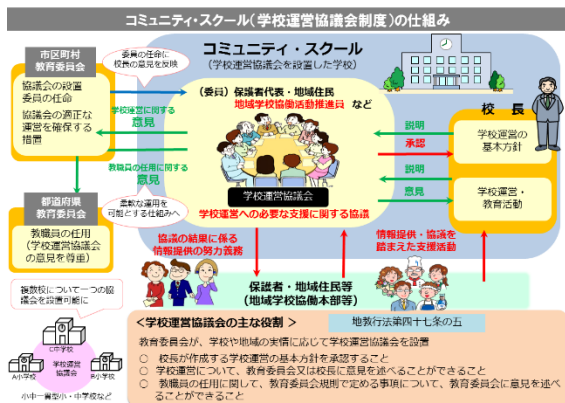
(1) 全県共通課題「情報メディアとの上手な付き合い方」への取組

◆「情報メディアとの上手な付き合い方」とは、メディア特性の把握（機器の種類、性能等）、メディアが及ぼす影響を知る、利用の約束、大人の学びの促進などを指します。

(2) コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）との連携による「目指す子どもの姿」の共有に基づく運動の展開

◆学校・家庭・地域が「目指す子どもの姿」を共有。地域総ぐるみでの活動（地域学校協働活動）を展開。

◆遠野市は2022年（令和4年度）以降に、コミュニティ・スクールを導入する計画。



(3) 地域学校協働活動の推進

◆地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動の推進。(例：キャリア教育、本の読み聞かせ、部活動指導、登下校時の見守り 等)

(4) 「まなびフェスト」の活用

◆一方的な学校発信型から、地域関係者での「熟議」を通じて決定した内容を発信していく。

(文責：遠野町地域教育協議会事務局)

ふるさと ふるさと とおのびと 遠野に学び、遠野を語れる遠野人の育成

これは、遠野中学校の「まなびフェスト・そだてフェスト」に掲げているテーマです。今年度、学校目標「知性を磨き 支え合い 未来を拓く遠中生」のもと、皆が仲良く、座敷わらしも一緒に遊べるような『座敷わらしの居る学校』を目指しております。地域の協力を得ながら、誰もが安心して学習、諸活動に取り組める学校づくりをさらに進めております。学校通信「夢拓く」より、今年度の活動を紹介します。

心のバリアフリーでみんな笑顔に～ボッチャ体験会を通して～

6月26日、本校の3年生と花巻清風支援学校遠野分教室の7名で、パラリンピック正式種目のボッチャを体験しました。この日は、テレビ岩手から遠野市へのボッチャセットの贈呈式が行われました。パラスポーツの理解と普及のためにいただいた用具を使っての体験会でした。本校卒業生で順天堂大学大学院生の朝倉海さんの指導を受けて、いざ挑戦。ボッチャは、障がいの有無にかかわらず誰でも楽しめるスポーツで、全員が夢中になってボールを投げ合いました。写真のように、市長さんも一緒に参加してくださいました。

また、オンラインで『共生社会とパラリンピック』と題して、障がい者スポーツを通じ「心のバリア」をなくし、みんなが楽しめるためにはどうすればいいかを考える視点をもつことを学びました。

【ボッチャの説明を聞く生徒たち】

【作戦を立て試合する市長さんと生徒】



【講義してくださった順天堂大学の尾高邦生先生】

クリーン大作戦 地域に感謝を！

「地域社会に奉仕する」というJRCの精神から生徒会企画のクリーン大作戦が6月18日に行われました。全校生徒と花巻清風支援学校の生徒さんが各校外班に分かれ、自分の地域の清掃活動や草取りなどのボランティア活動に取り組みました。各地区センターの職員さん、各地区の区長さんに地域の要望を取りまとめていただき、作業内容を決めました。暑い中、区長さんや役員、職員さんが一緒に参加してくださいました地区もあり、アドバイス頂いたり、子ども達を見守ってくださいたりと、ありがとうございました。おかげさまで、クリーン大作戦を無事実施することができました。これからも地域の一員として頑張っていきたいと思えます。



【地域の方と一緒に清掃活動に取り組む生徒たち】

(文責：副校長 西田牧恵)